

さあ、2学期だ！がんばるぞ！！

8月20日、久しぶりに園内に子ども達の元気な声に戻ってきました。7月24日からの25日間の長い夏休みを終えた子ども達は、どの顔も、夏の楽しい思い出で、いっぱい。どの教室でも、子ども達の賑やかな歓声と笑顔でちぎれんばかりでした。



始園式では、園長から、終園式で「お父さんやお母さんのいうことをしっかり聞いて、楽しい思い出をたくさん作りましょう」「冷たいものを食べ過ぎたり、飲み過ぎたりしないように」「交通事故にあわないように」という3つのおねがいがありました。それをしっかり覚えていた子がたくさんいて、とても驚きました。いずれにしても、大きな怪我や事故

に遭うことなく、無事、2学期の始業式を迎えることができ本当に嬉しく思います。

2学期は、大きな行事がたくさんありますが、基本となるのは、「体」です。「早寝・早起き・朝ご飯」をしっかり定着させて、全員、元気に過ごしてほしいと思います。

「全ては子ども達のために」、ご理解とご協力をお願いいたします。共にがんばりましょう。(園長)

先生方から劇風に「幼稚園でやってはいけないこと」を教わりました↑



教育実習生紹介

8月20日から9月7日までの2週間、教育実習を行っている光塩学園女子短期大学の「近藤萌菜」さんを紹介いたします(←)。

(質問) 帯広の森幼稚園の印象は。

(答え) 元気で明るい子ども達が多く、緑溢れる園庭に囲まれていて、楽しく遊んでいる子が多いという



印象です。

(質問) どんな先生になりたいですか。

(答え) 子ども達が自ら考えて行動し、伸び伸びと成長できる環境が作れる先生になりたいです。

(質問)好きなことや特技は。

(答え) 音楽鑑賞と体を動かすことです。

生まれは帯広市(大空小中出)ということです。是非、卒業後は、帯広で幼稚園教諭になってほしいと思います。

しつけの「不易」と「流行」

昔から、わが国の「しつけ」は、幼児に対しては甘い、青年期になると厳しくなるということが問題だと言われてきました。つまり、幼いころに教えて、生活習慣となすべきものが、ついついかわいさに惑わされて、抜け落ちやすいということが指摘されていました。近年は、それに加えて、経済的な豊かさに伴う過保護状況があり、世の中に物があふれるために、幼児期の「しつけ」が、うまくできないという問題があります。さらに進学競争が激しいことから、勉強さえしていればいい子だ、しつけは後回しでもしかたないという風潮もあり、集団の中で気持ちよく暮らす知恵も態度も身につけていないという子どもが増えているのです。

「しつけ」というと、とかく子どもを型にはめる指導で、個性を押しつぶすとか、古い考えを押しつけるやり方だという反発があります。確かに明治や大正の「男は男らしく、女は女らしく」などの古い封建的な思想に裏打ちされた「しつけ」を押しつけるのは、意味がないかもしれません。しかし、自分で使った道具の後片付けをしなければ、次のことに移させない、他人の物を無断で使わない、特別な場合を除いては、口に物を入れたまま、しゃべったり、歩いたりさせないなどというような簡単なことから取り組み、TPO をわきまえた言動ができるようなことまでしつけられたら、何と素晴らしいことでしょうか。

現代の社会は、激しく変化しているし、しつけも社会に応じて移り変わるものです。明治や大正はいうに及ばず、昭和や平成のしつけでも、時代にそぐわないものもあります。でも、よく見てみると、しつけにも、いつの時代であっても変わらない、いわゆる「不易(ふえき)」とっていいものと、時代の社会に応じて少しずつ変わる「流行」があるように思います。ですから、私たち大人は、不易だと思われることは、子ども本人や社会の幸せのために、徹底してしつけていき、流行だと思われるところは、なるべくゆるやかに教え、そういう場面に子どもがたった時、自主的に自分の言動を選択できる余地を残してやっておいた方が、いいのではないのでしょうか。 ↓英語教室(もり組)の様子

みなさんは、どう思われるでしょうか。

9月行事予定

- 3日(月) 入園願書配布 避難訓練
- 9日(日) 運動会
- 19日(水) 幼稚園であそぼうよ
- 20日(木) 秋の遠足
- 25日(火) 誕生会・試食会
- 28日(金) 葵フェスティバル

